



NTT、2020 UEFA 欧州選手権で通信インフラを提供し大会の運営に貢献

欧州最大のスポーツイベントの支援を通じて、NTT の確固たる技術を共同実証

英国ロンドン発-2021年9月6日- グローバルテクノロジーサービスプロバイダーである NTT Ltd.（以下、NTT）は、2020 UEFA 欧州選手権（以下、EURO2020）の大会期間中、通信サービスの提供等を通じ、UEFA のデジタル基盤を支え、大会運営に貢献しました。

EURO2020 は、2020 年から 2021 年に大会が延期になるなど新型コロナウイルスの影響がありながらも、11 の都市で 51 試合を開催し、31 日間にわたる大会を終えました。

このように様々な要素が複合するイベントにおいては、NTT のこれまでの大規模イベントでの経験や複数拠点間で様々なサービスを提供する能力が非常に重要になります。NTT は、コンサルティングやプロジェクトマネジメント、重要なデジタル基盤を提供するサービス力を組み合わせることにより、全試合において全てのスタジアムで通信サービスを提供し、大会運営を支援しました。具体的には、各スタジアムのサービスエリアやピッチサイド、メディア席などに以下の機器等を設置し、LAN や WiFi サービスを提供しました。

- ・スイッチ：890
- ・アクセスポイント：1,565
- ・光ファイバーケーブル：延べ 87km
- ・メタルケーブル：延べ 245km
- ・作業員：170 名以上

UEFA の CIO(Chief Information Officer、最高情報責任者)である Daniel Marion 氏は、「欧州最大のサッカー大会を効率的に運営するために最高水準の技術を NTT と共に提供できたことを光栄に思います。欧州の全ての会場にユニークなフットプリントを持つ NTT は、信頼できるインフラと専門性を我々に提供してくれました」と述べています。

NTT Ltd. の Abhijit Dubey CEO は「EURO2020 は、国際的なイベントであり、安定的なインフラ支援が不可欠です。そのため UEFA が 2019 年のマドリッドでの UEFA チャンピオンズリーグ決勝に続き、NTT を選んでくれたことをとてもうれしく思います。ツール・ド・フランス、インディカー、MLB などの主要なスポーツ大会で活用された NTT のインテリジェントインフラサービスが、1 試合 1 試合の運営を円滑にするだけでなく、世界中にいるファンを楽しませることができます」と述べています。

NTT のパートナーの拡大は、各地域のリソースを活用したソリューションの提供が可能で、全体にわたり一貫した設計やサービスを確実なものとする。NTT のソリューションは、EURO2020 において、欧州の 11 の都市で提供され、クラウドで制御可能な WiFi ルーティングや通信セキュリティ向けの 2,000 の Cisco Meraki の機器や、1,400 以上の固定通信用 Cisco 製スイッチ、ピッチサイドに UEFA の要求によりカスタム化されたソリューションを構築することにより、EURO2020 のデジタル基盤を支援しました。これにより UEFA は、全スタジアムにおいてメディアや TV 局、スポンサーや VIP 観客用に世界最高水準の通信の提供が可能となり、NTT は大会運営に大きく貢献しました。



UEFA について

UEFA (the Union of European Football Associations)は、欧州サッカーの組織体です。協会のための協会であり、多数決制を採用し、欧州 55 のサッカー協会が加盟しています。サッカーが持つ連帯の精神、団結、平和、人々、相互理解、フェアプレー、政治、人種、宗教、性別やその他のあらゆるものを差別することなく体現するため、特に欧州サッカーに関する課題などに取り組んでいます。UEFA は、倫理規範や欧州サッカーにおける優良なガバナンスを維持促進し、欧州サッカーに関わる全てのステークホルダーとの関係を構築し、欧州サッカーがよりよくなるように加盟協会を支援しています。

報道機関からのお問い合わせ先:

Hotwire for NTT Ltd.

Beth Sissons

T: +44 (0)7824 144 109

E: beth.sissons@hotwireglobal.com